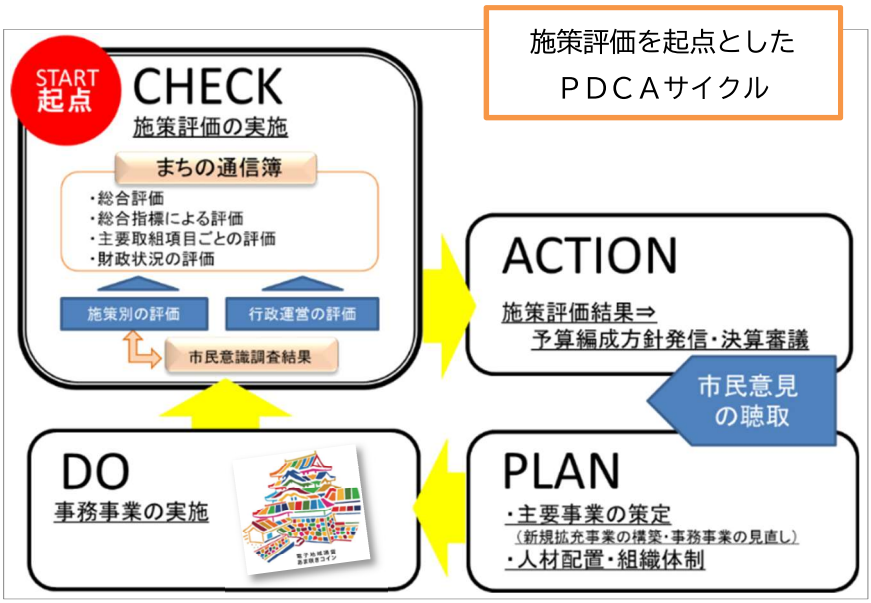
市長定例記者会見資料

令和６年８月27日	
所　属	政策推進課
所属長	高橋　卓広
電　話	06－6489－6124

「次のステージ」に向けたまちづくりを推進
－令和６年度施策評価結果（令和５年度決算）を踏まえた令和７年度予算編成方針を発信－

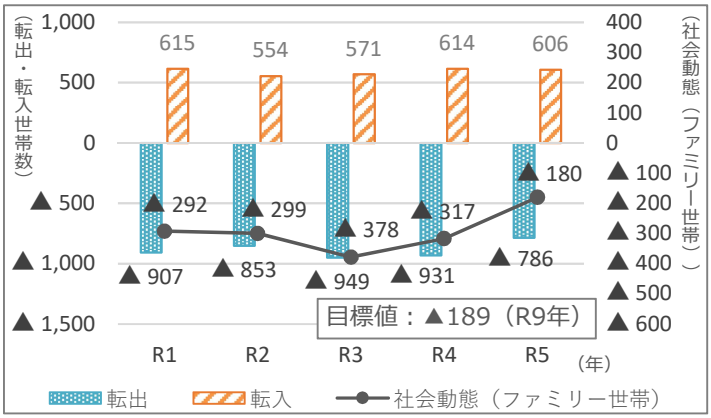
１　令和６年度施策評価結果　－まちづくりの進捗状況を評価－

本市では、まちづくりの長期的な指針である総合計画で定める「ありたいまち」の実現に向けて、毎年度、取組状況を振り返る「施策評価」を行い、各施策の成果や課題、今後の取組方針などを確認し、その結果を次年度の予算編成につなげていくといったサイクルでまちづくりを進めています。また、市民の皆さんに分かりやすく、まちづくりの進捗をお伝えできるよう、施策評価に基づくまちづくりの評価が一目で分かる「まちの通信簿」を毎年度公表しています。



施策評価における振り返りの中では、次のような指標の改善傾向が見られました。

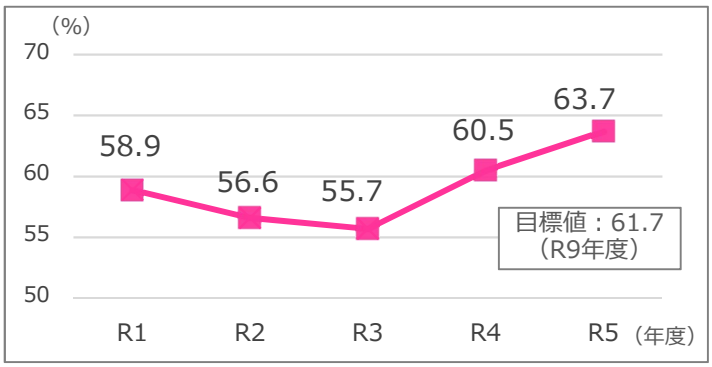
①ファミリー世帯（５歳未満の子どもがいる世帯）の転出超過数が大幅に改善



・市全体の社会動態が増加する中、ファミリー世帯の転出超過数は前年から半減し、統計を取り始めた平成２４年以降、最も少ない数字となりました。

・ファミリー世帯から「住みたいまち」「住み続けたいまち」と選ばれるまちづくりを更に進め、引き続き、定住・転入の促進に取り組みます。

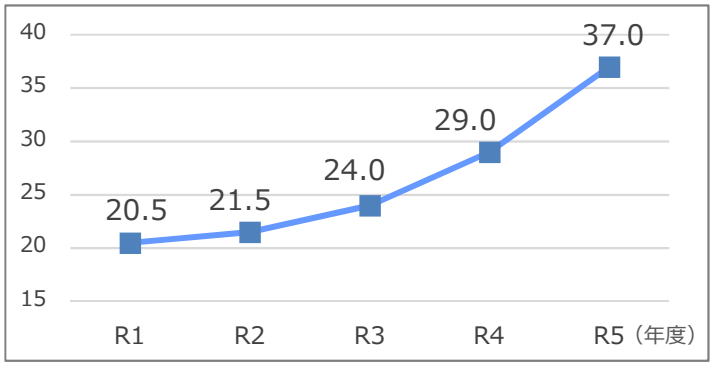
②「まちのイメージが良くなった」と感じている市民の割合は着実に増加



・「まちのイメージが良くなった」と感じている市民の割合は、６３．７％と着実に増加し、過去最高を更新しました。

・令和９年度目標値を超える結果となりましたが、更なる高みを目指し、まちの魅力向上と発信に取り組みます。

③「市外地域推奨意欲」も着実に増加し、市内外からの評価は確実に高まっている

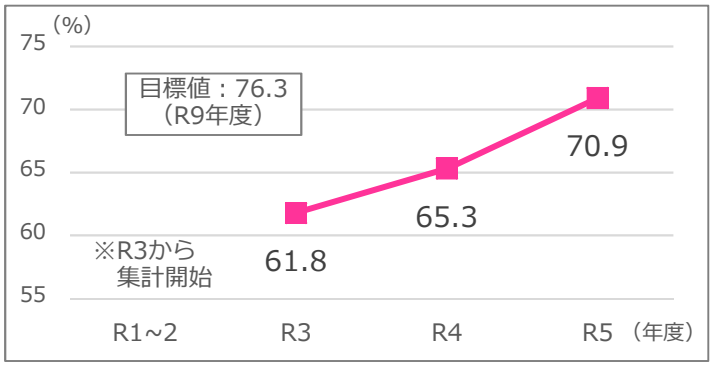


・「市外地域推奨意欲（※）」は、令和元年度から着実に増加傾向が続き、３７．０と過去最高を更新しました。

（※）市外からまちに共感してくれる人たちが、そのまちをおすすめしたい意欲を数値化したもの

・まちの魅力やイメージ向上に向けた、これまでの取組が実を結び、これらの指標に成果として表れていると評価しています。

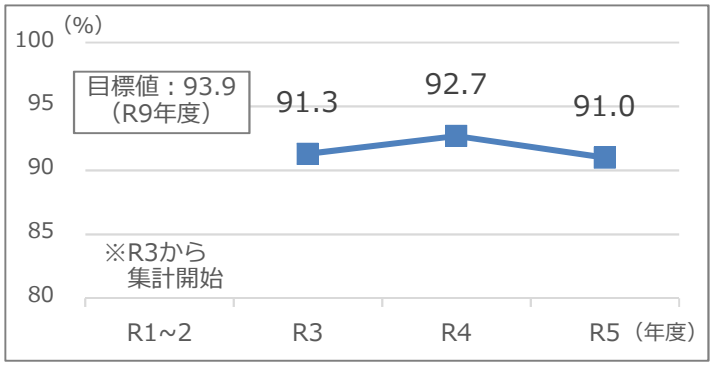
④「安全で安心して暮らせるまち」だと感じている市民の割合は着実に増加



・「安全で安心して暮らせるまち」だと感じている市民の割合は、７０．９％と着実に増加し、過去最高を更新しました。

・暴力団排除の取組やかんなみ新地の環境改善に加え、多文化共生社会の実現に向けて、新たなニーズや課題に対応します。

⑤「『尼崎市に住んでよかった』と感じている市民の割合」はより高い水準で維持



・市民の実感を確認しているこの指標は、９１．０％と前年度から引き続き高い水準を維持しています。

・高い生活利便性や職住近接などの本市の強みが評価されるとともに、シチズンシップの向上やシビックプライドの醸成への取組の成果が表れています。

※②④⑤：令和５年度市民意識調査結果より
③：令和５年度ネットアンケートより

こうした指標の推移や施策別の評価、社会情勢などを踏まえた
総合評価を行い、**令和７年度の予算編成方針を策定**

２　令和７年度の予算編成に向けて（予算編成方針）

・　尼崎市がこれまで進めてきた各施策の取組の結果、人口動態やまちのイメージ向上など、統計として成果が表れつつあり、こうした前向きな流れをさらに加速させ、都市としての成長につなげていきます。

・　今後は、令和５年度にとりまとめた「あまがさき子ども・子育てアクションプラン」「あまがさき共創ＤＸプラン」「子育て世帯の定住・転入に向けた良好な住環境形成のための住宅施策パッケージ」といった政策の方向性の具体化に加え、外国籍住民の増加といった本市を取り巻く社会情勢の変化への対応など、具体的な施策・事業を「実行・実現」していくことを通じて、「次のステージ」へ向けた持続可能なまちづくりを進めていきます。

・　令和７年度の予算編成に向けては、これまでの成果と課題を把握し、次の項目に重点的に取り組んでいきます。

重点項目１　子ども・子育てに係る支援と環境の充実

- 子育てに係る家計・ゆとり・安心のサポートの取組強化
- 子どもの安全確保のための環境づくり
- 個々の状況に応じた最適な学びの保障

重点項目２　良好な住環境形成とエリアブランディングの推進

- 子育て世帯から選ばれる住環境の実現
- マナー向上など安全かつ快適に住み続けられる住環境の実現
- 鉄道駅を中心としたまちの魅力と活力の創生に向けた取組の推進

重点項目３　時代の変化に対応した産業イノベーションの推進

- 経済成長へつながる企業立地と企業投資活動の促進
- 企業等の新たなチャレンジを支援する取組の推進

重点項目４　多文化共生社会の実現に向けた取組

- 外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに向けた取組の推進
- 外国人と日本人とがともに活躍できるまちづくりに向けた取組の推進

重点項目５　市民サービスの向上と業務効率化に向けた共創DXの推進

- デジタル技術を活用した市民サービスの向上と業務の効率化

３　まちの通信簿の公表

上記１、２における、

- 施策評価を通じたまちづくりの進捗状況の評価
- 評価をもとにした今後重点的に取り組む項目　を、

市民の皆さんにも分かりやすくまとめた、
「まちの通信簿」（あまがさきのあゆみ）を発行します。

尼崎市民の皆様へ

令和5年度決算からみる「まちの通信簿」

あまがさきの

あゆみ

まちの通信簿は、総合計画に基づくまちづくりの取組状況を分かりやすくお伝えするために作成しています。
3つの総合指標、主要取組項目に関する8つの指標をもとに、令和5年度の取組のふりかえりを行うとともに、これから重点的に取り組む項目を示しています。

令和6年8月

以　上